



各 位

平成 21 年 12 月 25 日

株式会社 LDH

当社元代表取締役社長との和解に関するお知らせ

株式会社 LDH（本社：新宿区西新宿、代表取締役社長：石坂弘紀、以下「当社」）は、当社元代表取締役社長 堀江貴文氏を含む旧経営陣ら 5 名、並びに元会計監査人社員 2 名、の計 7 名を被告とする損害賠償請求訴訟において、本日、東京地方裁判所からの職権による和解勧告に基づき、旧経営陣らのうち元代表取締役社長 堀江貴文氏との間で訴訟上の和解をいたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 和解の主な内容

当社に対し、当社元代表取締役社長 堀江貴文氏が総額 約 208 億 7 千万円の資産を引き渡し、当社と堀江貴文氏との間の一切の紛争を解決するものです。

尚、引き渡される資産の大部分は堀江氏が保有する当社株式と、支払いを留保していた当社からの配当金となります。この和解内容の詳細につきましては、和解条件の 1 つでもある守秘義務に基づき開示できませんことをご容赦いただきたく、ご理解のほどお願い申し上げます。

2. 訴訟の提起から和解に至るまでの経緯

当社は、証券取引法違反に関しての旧経営陣らの当社に対する民事責任の有無等について、当社元代表取締役社長 堀江貴文氏を含む旧経営陣ら 5 名、並びに元会計監査人社員 2 名、の計 7 名を被告とする損害賠償請求訴訟（平成 20 年 8 月 11 日付提起、平成 21 年 2 月 10 日付初回請求拡張、平成 21 年 8 月 24 日付 2 回目請求拡張）を東京地方裁判所に提起し、被告らに対し連帯して総額金 363 億 1282 万 3904 円及びこれに対する遅延損害金の支払いを請求し、同裁判所において係争していましたが、この度、同裁判所からの和解勧告において提示された和解案を受諾し、平成 21 年 12 月 25 日付けで、当社元代表取締役社長 堀江貴文氏と訴訟上の和解が成立いたしました。

3. 当社からの損害賠償請求の内訳

訴訟提起時 平成 20 年 8 月 11 日付

・請求額： 金 35 億 2330 万 3120 円及びこれに対する訴状送達の翌日から支払済みまで年 5 分の割合による遅延損害金

・内容：

- ① 刑事事件（証券取引法違反）における当社への罰金： 2 億 8 千万円
- ② 刑事事件（証券取引法違反）の当社弁護士費用： 1409 万 1873 円
- ③ 架空売上計上により当社が過大に支払った税金： 5 億 8329 万 8814 円
- ④ データセンターサービス事業の中止に関する費用： 17 億 5653 万 2637 円
- ⑤ 子会社ライブドアフィナンシャルホールディングスの売却に関する手数料
： 8 億 8937 万 9796 円

初回請求拡張時 平成 21 年 2 月 10 日付

・請求額：金 310 億 5442 万 8000 円及びこれに対する請求の趣旨拡張申立書送達の翌日から支払済みまで年 5 分の割合による遅延損害金

・内容：平成 21 年 1 月 22 日付けで株式会社フジ・メディア・ホールディングスとの間で成立した和解の金額

2 回目請求拡張時 平成 21 年 8 月 24 日付

・請求額：金 17 億 3512 万 5421 円及びこれに対する請求の趣旨拡張申立書送達の翌日から支払済みまで年 5 分の割合による遅延損害金

・内容：平成 21 年 7 月中に行った、一般投資家訴訟における※3 件の判決や和解による訴訟解決に基づき、当社が原告らに支払った金額

< 3 件の訴訟解決の内訳 >

※7 月 8 日の法人 1 社・個人 1 名との判決に基づく損害賠償金の支払い

：当社支払額 7280 万 3827 円（遅延損害金含む）

※7 月 23 日の法人 4 社・個人 377 名との判決に基づく損害賠償金の支払い

：当社支払額 16 億 1432 万 1594 円（遅延損害金含む）

※7 月 29 日の個人 1 名との裁判上の和解による訴訟解決

：当社支払額 4800 万円

4. 当社コメント

本和解に際し、当社からの正式コメントは以下の通りです。

「引渡しを受ける資産は、堀江氏の資産のほぼすべてに相当するものであり、当社の損害回復を迅速に最大限果たした事になります。当社の責任において、旧経営陣らのうち、核心となる堀江氏への責任追及を完遂出来た事に大変満足しております。」

5. 今後について

旧経営陣らに対する損害賠償請求訴訟においては、残りの当社元取締役 宮内亮治氏を含む旧経営陣ら 4 名、並びに元会計監査人社員 2 名、の計 6 名に対し、引き続き責任追及を行うとともに、当社への一般・機関投資家からの複数の損害賠償請求訴訟に関しても、全社を挙げて注力し、早期解決を目指していく所存です。

以上